

# 【尾州】繊維業の今 ⇒ つなげよう、未来へ【一宮】



一宮高校

愛知県立一宮高等学校 ファッション創造科2年生みんな

クラス代表：平野美羽・山田有良々・渡邊早咲

## 導入

一宮市は明治以来繊維産業が盛んで総合繊維産業都市として世界に知られている。私たちは、この地方で作られる尾州布の繊維工場の見学や、尾州生地を使った服の制作など、地域の繊維業と関わる学習をしてきた。

今回、数学の授業で学んだデータ分析の知識をもとに、繊維業界がどのように変わってきたのかを過去の統計から読み取り可視化した。また、地元企業の取り組みについても調べ、繊維業界の未来像についての考察も行った。



(株)ソー染色・仕上げ



中伝毛織(株)織機・編機



(同左)織物体験



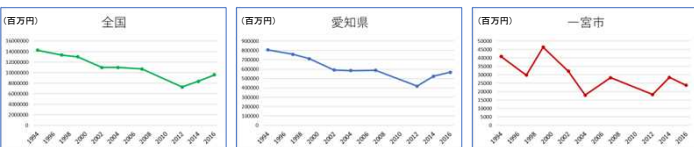
東和毛織(株)製糸

## 方法

- ・使用したデータ  
経済産業省「工業統計調査」「商業統計調査」  
「生産動態統計年報(繊維・生活用品統計編)」  
財務省「貿易統計」・日本貿易統計  
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

- ・方法  
各項目について、表計算ソフトでグラフ化して分析・考察を行った。9つのチームが作成したポスターから再構成。

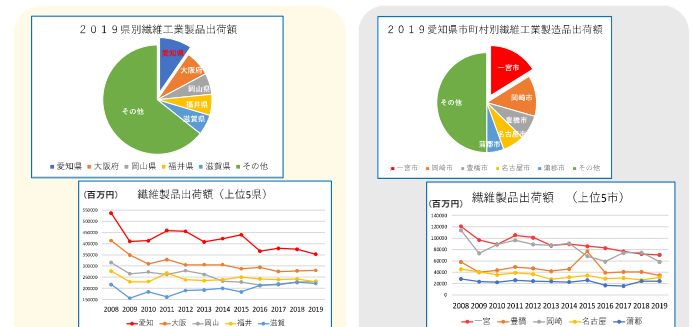
## 分析1 商品販売額(織物・衣服小売業)



全国と愛知県は2012年まで減少後、増加していて、2012年は極端に低くなっていることがわかる。一宮市はグラフの変動が大きく、小売業の不安定さが読み取れる。

※一宮市の2002年のデータは欠損値のため、前後の年の平均

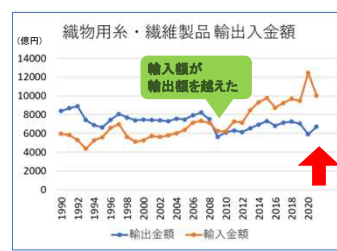
## 分析2 繊維製品出荷額(県別・市町村別)



愛知はトップだが減少傾向が強い。滋賀が増えている理由を調査する必要あり。

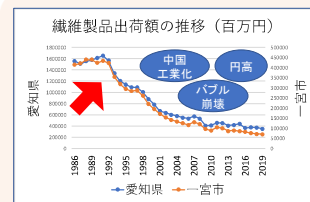
愛知県内では、一宮がトップ。2位は岡崎市。一宮は16%と頑張っている。

## 分析3 輸出入の長期推移

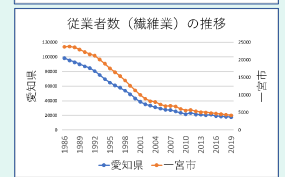
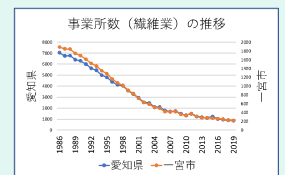


2007年までは輸出・輸入が同じように増減していたが、2009年に輸入が輸出を上回ってから今日まで輸入が多い状況は変わらない。2021年に輸入額が急激に減少しているのは新型コロナウイルスの影響で製造を停止したためではないか。

## 分析4 出荷額・事業所数・従業員数の推移



1990年頃から、中国の工業化が急速に進み、中国製品の需要と供給が高くなったためと思われる。その影響で日本の出荷額が減ったのではないかと。バブル崩壊もこの頃。



従業員数、事業所数ともに減少。特に2004年までに急激に減少している。

## 未来に向けた取り組み

♡尾州生地を使用したロリィタ服♡  
クラウドファンディングを通して「尾州生地」と日本のかわいい文化である「ロリィタファッション」を組み合わせた全く新しい形の洋服「尾州ロリィタ」を広めるためのプロジェクト。  
(尾州ロリィタ <https://lococo-bishu.stores.jp/>)

🦊一宮コスチュームタウンプロジェクト🦊  
繊維産業の技術を「コスプレのコスチュームづくり」に役立てることで街の活性化を目指すプロジェクト。  
(一宮コスチュームタウンプロジェクト <http://www.ichinomiya-cci.or.jp/costumetown/>)

## 考察

一宮市だけでなく、愛知県や全国も同様な推移・割合となっていることから、繊維工業は日本全体で衰退傾向にあることがわかる。一宮で昔から生産されている毛織物の出荷も落ち込んでおり、日本の毛織物産業を大切にしていける理解や取り組みが必要だと感じた。

そんな中、いくつもの地元企業が力を合わせ、尾州の生地の素晴らしさを伝える新しい取り組みをしていることも知った。私たちは、授業で尾州生地を使う機会があるので、実感しているその良さを、多くの人々に広めていきたい。

